大阪の朝

安西冬衛

青空文庫

川に張り出した道頓堀の盛り場は、仇女の寝くたれ姿のように、たくましい家裏(やうら)をまざまざと水鏡に照し出している。

太左衛門橋の袂(たもと)。

舟料理の葭すだれは、まき上げられたままゆうべの歓楽の名残をとどめている。

宗右衛門町の脂粉の色を溶かしたのであろうか、水の上に臙脂(べに)を流す美しい朝焼けの空。

だが、宵っ張りの町々は目ぶた重く、まだ眼ざめてはいない。

「朝は宮、昼は料理屋、夜は茶屋……」という大阪の理想である生活与件。そのイの一番に大切な信心の木履の音もしない享楽の街の東雲(しののめ)。

瓦灯(がとう)が淡くまたたいている。

私は、安井道頓の掘ったこの掘割に目をおとして、なんとなく、

——どおとん。

と、つぶやく。そしてフッと

——秋(ドオトンヌ)

というフランスの言葉を連想する。

左様、巴里の空の下をセーヌが流れるように、わが大阪の生活の中を道頓堀川が流れているのだ。

間もなく秋が来る。

青空文庫情報

底本：「ふるさと文学館　第三三巻　【大阪※［#ローマ数字2、1-13-22］】」ぎょうせい
　1995（平成7）年8月15日初版発行
底本の親本：「安西冬衛全集　4」寶文館出版
　1983（昭和58）年
初出：「サンデー毎日」
　1952（昭和27）年8月
入力：大久保ゆう
校正：Juki
2016年3月4日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

大阪の朝

安西冬衛

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/